

2023年度 第3回 現代文化人類学会（旧早稲田文化人類学会）定例研究会  
『取るに足りないものたちの民族誌——チリにおける開発支援をめぐる人類学』合評会

●日時：10月30日（月）18時15分～20時15分

●場所：ハイフレックス方式での開催となります。

\*【対面参加を希望される方へ】

特に事前申込の必要はありません。直接会場に起こしてください。

会場：早稲田大学戸山キャンパス 32号館2階225教室

→交通アクセス：<https://www.waseda.jp/top/access/toyama-campus>

\*【オンライン参加を希望される方へ】

事前申込が必要です。10月27日（金）までに下記のGoogleフォームを通じて申し込み  
ください。10月28日以降、参加申込をされた方のみ、ZoomのURLをお送りします。

→Googleフォーム：<https://forms.gle/ZBBK2pwrqYF4jC2A6>

\* どなたでもご参加いただけます。

●企画趣旨：

2023年度第3回の定例研究会では、今年3月に刊行された『取るに足りないものたちの民族誌——チリにおける開発支援をめぐる人類学』をめぐる合評会を開催することにしました。当日は著者による内容紹介や2名の評者による論評に加えて、参加者からのご意見をいただき、多様な議論を展開したいと考えています。

18時15分～18時20分 趣旨説明

18時20分～18時40分 著者解題 内藤 順子（早稲田大学）

18時40分～19時00分 評者① 田沼 幸子（東京都立大学）

19時00分～19時20分 評者② 関根 久雄（筑波大学）

19時30分～19時45分 リプライ

19時45分～20時15分 質疑応答

●著作情報

内藤 順子『取るに足りないものたちの民族誌——チリにおける開発支援をめぐる人類学』  
（春風社）<http://www.shumpu.com/portfolio/926/>

●お問い合わせ：

現代文化人類学会定例研究会ワーキンググループ 箕曲在弘

minoo [a] waseda.jp \* [a]を@に変えて送信してください。